

にのみやまちとしょかん 図書館だより



特集 文学賞 (ノーベル文学賞)

毎年10月、世界中の注目を集めるノーベル賞授賞の決定・発表があります。授賞式はノーベルの命日にあたる12月10日に行われます。世界最初の国際的な賞として1901年に創設されて以来、その歴史を積み重ねてきたノーベル賞は現在6分野。自然科学3賞と呼ばれる「物理学賞」「化学賞」「生理学・医学賞」と、「平和賞」「文学賞」「経済学賞」があります。今回は、そのうちのノーベル文学賞について特集します。

ノーベル文学賞とはどんな賞？

ノーベル文学賞は、文学も「人類への貢献」のひとつだと考えていたノーベルの、文学に対する愛着から生まれた賞です。理想主義的な傾向をもつ、すぐれた文学作品を創作した人物にあたえられ、国際的にもっとも権威のある文学賞です。

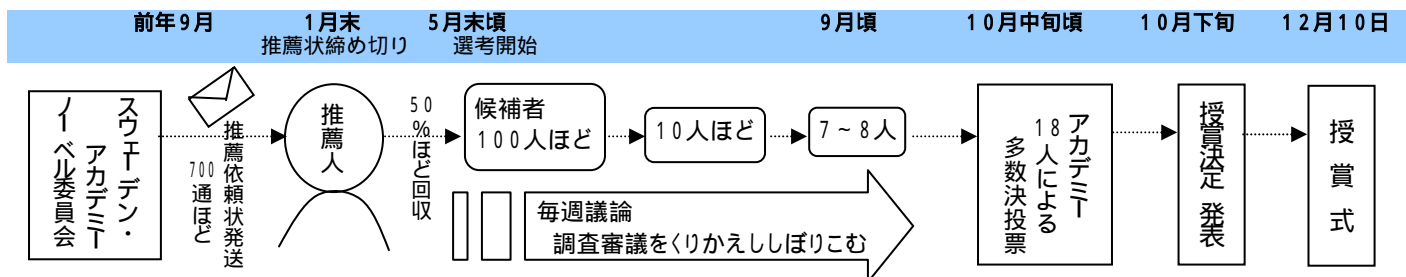
ノーベル文学賞のメダルって？



若者が芸術の女神の詩を書きとめる場面

どうやって選ばれるの？

文学賞の選考は、スウェーデン・アカデミーという組織によって行われます。作家・学者など18人で構成され、そのうちの5人からなるノーベル委員会が、前年9月に推薦依頼状を推薦人に発送することから選考が始まります。推薦人は北欧諸国の大学教授や過去の受賞者など。選考の流れとスケジュールはだいたい下図のとおりですが、選考過程に関しては一切秘密にされています。



日本人のノーベル文学賞受賞者は？

日本人ノーベル賞受賞者一覧

年	名前	賞
1949	湯川秀樹	物理学賞
1965	朝永振一郎	物理学賞
1968	川端康成	文学賞
1973	江崎玲於奈	物理学賞
1974	佐藤栄作	平和賞
1981	福井謙一	化学賞
1987	利根川進	生理学医学賞
1994	大江健三郎	文学賞
2000	白川英樹	化学賞
2001	野依良治	化学賞
2002	小柴昌俊	物理学賞
2002	田中耕一	化学賞

2006年9月現在で、ノーベル文学賞を受賞した日本人は川端康成氏と大江健三郎氏の2人です。『伊豆の踊子』や『雪国』で知られる川端氏の主な授賞理由は、優れた感受性で日本人の心を表現し、西洋と日本の橋渡しの役割をしたことがあげられています。大江氏は、新しい人間の姿を追い求める文学だと世界的に評価されており、原子爆弾や核兵器問題について積極的に意見の発表や行動を続けていることなどが主な授賞理由とされています。

今年のノーベル文学賞のゆくえは？

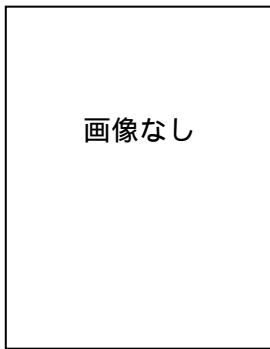
2001年に創設された「フランツ・カフカ賞」という文学賞があります。『変身』で知られるプラハ出身の作家フランツ・カフカにちなんだ賞で、まだ歴史は浅いですが、世界的に重みのある賞と位置付けられています。最近2年連続で、このカフカ賞を受賞した作家がそれぞれその年のノーベル文学賞に輝きました。

その注目のカフカ賞に、今年は日本から村上春樹氏が選ばれました。カフカ賞の授賞式は10月30日に行われます。そのようなことから、村上春樹氏のノーベル文学賞受賞の期待が高まっています。

参考資料 『ノーベル賞の大常識』(青木一平著/ポプラ社/2004/児377ア) 『ノーベル賞名鑑 全受賞者 2000年度新装版』(溝川徳二編/名鑑社/1999/R280.4ノ) 『ノーベル賞おもしろ雑学事典』(ノーベル賞研究会著/ヤマハミュージックメディア/2002/377.7ノ) 日本経済新聞(2006.4.16/朝刊2面) 日刊スポーツ(2006.3.24/26面)

今月の展示テーマは、「宇宙」。9月12日の「宇宙の日」にちなみ、「宇宙」をキーワードに本を集めてみました。

1992年9月12日、日本人宇宙飛行士毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙へ飛び立ちました。その年、1992年は国際宇宙年だったため、以来9月12日は「宇宙の日」とされました。今回は、ちょうどその年に発行の『**絵でみる宇宙大地図**』（ヒーザー・クーパーほか著 岩坂彰訳 松谷



世津子訳 / 京都同朋舎出版 / 1992.10 / 440頁) を紹介します。

宇宙へ向かう当時のロケットの構造や軌道・宇宙での生活・宇宙利用、太陽や地球その他の星の成り立ちなどが、絵と文で分かりやすく説明されています。また、星1つ1つの直径や表面温度などのデータも知ることができ、遠い遠い宇宙の世界や星たちが身近に感じられる1冊です。最近出版のものとは見比べてみるのも面白いかもしれません。

新しく入った本 CD DVD



「犬と話をつけるには」

(多和田悟著 / 文芸春秋(文春新書) / 2006.6 / 645.6 夕)



過去にたくさんの盲導犬を育て、魔術師と呼ばれるクイルの訓練士多和田氏が、犬との接し方を伝授してくれます。

第一章では、犬は明日のことを考えない、犬は後悔しないなど犬を知るための5つの法則をわかりやすく説明しています。

第二章では、盲導犬使用者と犬との関係や関り方、著者の盲導犬を通して感じる事や人生観などが書かれています。

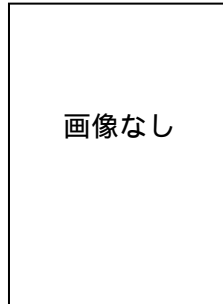
第三章では、愛犬との生活を写真日記形式で紹介。人間味あふれる温かみを感じられ、犬の表情に心が癒されます。ちなみにこの本の写真の一部は、二宮の海岸で撮影されています。

映像 DVD

「Discovery CHANNEL (8-3)

(不可能に挑む技術者シリーズ)
「ハーレーダビッドソン - 100年目の進化 -」

(角川書店 / 2003.12 / 031 特 8-3)



世界最大のドキュメンタリー番組「ディスカヴァリーチャンネル」がDVDになりました。そのシリーズのひとつ「ハーレーダビッドソン」。

常に時代の最先端を走るオートバイを生み出し、創立から100年にわたりアメリカンスピ

リットの象徴としてのスタイルを貫いてきたハーレーダビッドソンに、2001年、新たな技術と精神が結び込まれました。その名はV-RÖD。ポルシェとの共同開発によるエンジンと特殊なアルミフレームによって、伝統とスピードを兼ね備えた芸術的なマシンが誕生したのです。

夢の実現の為に、何度でも試行錯誤を繰り返す技術者達の姿が克明に映し出されていて、そのプライドと情熱が伝わってきます。

録音 CD

「TK Instrumental Works Selection - 1985 - 2003 -」

(小室哲哉演奏 / Sony Music Direct / 2006.2 / 260 円)



日本を代表するアーティストであり音楽プロデューサーの小室哲哉。彼が手掛けた数々のサウンドトラックやインストゥルメンタル作品のセレクション・アルバムです。映画「天と地と」、TVドラマ「二十歳の約束」などから13曲が収録されています。

“音楽家”としてたくさんのアーティストに提供してきた大ヒット曲などとは全く趣きが違い、さまざまな音楽要素が駆使され、目の前に壮大で崇高な世界が繰り広げられていくようで、奥の深さを感じます。

ふう～ん

秋の七草、
言えますか？

- 萩 (はぎ)
- 尾花 (おばな : ススキのこと)
- 葛 (くず)
- 撫子 (なでしこ)
- 女郎花 (おみなえし)
- 藤袴 (ふじばかま)
- 桔梗 (ききょう)



図書館講座を終えて

児童向け図書館講座「物語を作ってみよう」

夏休みも終盤の8月24日、町内在住の人気児童文学作家・池田美代子先生を講師にお招きして、「物語を作ってみよう」という児童向けの講座を行ないました。午前10時から2時間ほどの講座で、小学校4、5、6年生20名ほどの参加がありました。

講座は、まず先生の子どもの頃のお話からはじまりました。小学生の頃から物語を書くことに興味があり、友達とリレー小説を書いたりしていたことや、現在執筆中の人気シリーズ『妖界ナビ・ルナ』が誕生した時のことなど、興味深いエピソードが満載で、皆真剣に耳を傾けていました。続いて、先生による宮沢賢治の『注文の多い料理店』の朗読があり、そのあと「レストランを舞台にした物語」を作ろう」という課題が出されました。物語のジャンル、主人公、時代等を各自で自由に設定するところからはじめ、実際に原稿用紙を使って書く作業を行ないました。時間内に書き終わらなかった分は宿題として、後日先生に添削していただきます。



講座の様子（中央：池田美代子先生）

短い時間でしたが、参加した子どもたちに作家気分を味わってもらえたと思います。

ベストオーダー

2006年7月～8月

この期間に予約が多かった本です

【児童書】

- 第1位 どんなかんじかなあ
- 第2位 空色の地図
" 少年は戦場へ旅立った
- 第3位 ダレン・シャン9 夜明けの覇者
" ハリー・ポッターと謎のプリンス 上・下
" ダニエルのふしぎな絵
- 第4位 ロボママ
" ビーズのてんとうむし
" イシガメの里
- 第5位 わたしたちの帽子

【一般書】

- 第1位 赤い指 / 東野圭吾
- 第2位 陰日向に咲く / 劇団ひとり
- 第3位 まほろ駅前多田便利軒 / 三浦しをん
- 第4位 病気にならない生き方 / 新谷弘実
- 第5位 愛の流刑地 上・下 / 渡辺淳一
- 第6位 温室デイズ / 瀬尾まいこ
" 東京タワー / リリー・フランキー
" 国家の品格 / 藤原正彦
" 食品の裏側 / 安部司

二宮ゆかりの人物

よしだ いそや
吉田 五十八 (建築家)

昭和の建築家・吉田五十八は、近代数寄屋の創設者であり、吉田茂邸、歌舞伎座など数々の名建築で知られています。二宮ゆかりの人物である山川方夫の家(現存せず)なども設計していますが、五十八自身も二宮に家を建て、亡くなるまでの30年ほどの間住んでいました。

吉田五十八は明治27(1894)年、東京日本橋に生まれました。生家は太田胃散を作っていた薬屋で、父親が58歳の時の子供だったため、五十八(いそや)と名づけられました。東京美術学校(現 東京芸術大学)で建築を学び、卒業後の大正12(1923)年、自宅に建築事務所を開きます。しかし、同年に関東大震災で自宅が焼失。その後、憧れの建築を見ようと欧米に游学し、イタリアの初期ルネッサンス建築や欧州各地のゴシック建築に大きな感銘を受け、3年後の大正15年に帰国しました。五十八はこの留学をきっかけに新しい日本建築をつくろうと日本建築の古典をひたすら勉強し、伝統的な日本の木造建築の近代化につとめました。そして、京都風の上品な数寄屋造りに近代味を加えた粋な作風の「近代数寄屋」と呼ばれる新しい様式を生み出しました。

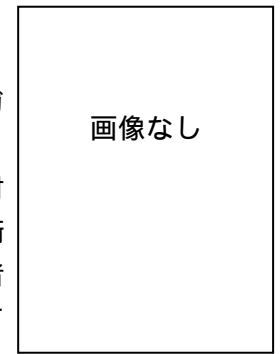
五十八が二宮町に自宅を建てる決心をしたのは、昭和18(1943)年頃のことでした。結婚して住んでいた東京馬込の家が昭和15年に火事で焼けてしまったあと、大森に新居を構えますが、戦時中の昭和18年二宮に疎開し、そこで暮らす決意をします。二宮を選んだのは次のような理由からで

した。「先ず和戦両用を考えた。戦争中いくら安全であっても、平和になってから東京へ行かれない所は困るし、さりとてあまり東京近くでもなんにもならないかもしれない。(中略)しかも一番物資の豊かなところで、軍需工場のないところを探してみたら、二宮町がクローズアップしてきたのである。」(『建築家吉田五十八』より)

二宮の知足寺近くに建てた自宅は平屋建てで15坪の極小住宅でしたが、随所に工夫が凝らされており、後に増築はしたものの今でも原形を変えずに現存しています。

また、五十八は建築家、芸術院会員、芸大教授と多忙の中、二宮町の文化の向上にも心を尽くし、昭和30、31年には二宮町の勤労者会主宰の夏期教養大学での講義なども行なっていました。

昭和39年には文化勲章を受賞し、昭和49(1974)年、79歳で結腸ガンのため亡くなりました。その後、昭和51年に吉田五十八芸術振興財団により、建築部門・建築関連美術部門における優れた作品と製作者を表彰する吉田五十八賞が創設されました(1993年第18回で終了)。



『建築家 吉田五十八』表紙

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『建築家吉田五十八』(砂川幸雄著 / 晶文社 / 2001 / NY 3) 『饒舌抄』(吉田五十八著 吉田五十八作品集編集委員会編集 新建築社編集 / 新建築社 / 1983 / NY 3) 『吉田五十八とその流れ』(和風建築社企画・編集 / 学芸出版社 / 1993 / NY 3) 『昭和住宅物語 - 初期モダニズムからポストモダンまで23の住まいと建築家 -』(藤森照信著 / 新建築社 / 2004 / NY 3) 『日本人名大事典 補巻 現代』(平凡社 / 1979 / R281.0 二)

お知らせ・お願い

特別館内整理休館のお知らせ

9月25日(月)～10月2日(月)の8日間、蔵書点検のため休館します。休館前の貸出の際、返却期限に変更がありますので、ご確認ください。休館中は、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

お願い 特別館内整理休館中の図書・AV資料の返却はご遠慮ください。

本を移動しています

棚に入りきらなくなった2階の本を、地下書庫に下ろす作業を7月から行っています。移動する本は、利用頻度の少ないものや出版年の古いものから選んでいます。一部、置き場所の変わった本もありますので、わからない事がありましたら、お気軽に職員におたずねください。

雑誌の休刊のおしらせ

「季刊水墨画」(No. 116で休刊) 「アスキー」(8月号で休刊)
「C a z」(9/11号で休刊)

行事

くわしくはお問い合わせください。

おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび

ちいちゃいおはなし会

9月 13日(水)
10月 18日(水)
11月 15日(水)

9月 16日(土)
10月 21日(土)
11月 18日(土)

わらべうたであそぼう!

9月 15日(金)
10月 20日(金)
11月 8日(金)

雑誌の

リサイクルコーナー

9月 24日(日)
10月 22日(日)
11月 26日(日)

展示テーマ

8月 | 一般 / 『怖い話』
| 児童 / 『課題図書&小・中学生にすすめたい本』
| A V / 『南の島から』

9月 | 一般 / 『宇宙』
| 児童 / 『みつけたよ!』

特設展示

7月・・・『第135回芥川賞・直木賞発表』

8月・・・『鶴見和子さんをしのんで』
『吉村昭さんをしのんで』

9月・・・『江戸庶民の生活』

7～8月・・・『宿題(自由研究・作文等)』(児童特設)

地域資料コーナー 展示ケース

7～9月・・・『二宮ゆかりの人物 高木敏子とガラスのうさぎ像』

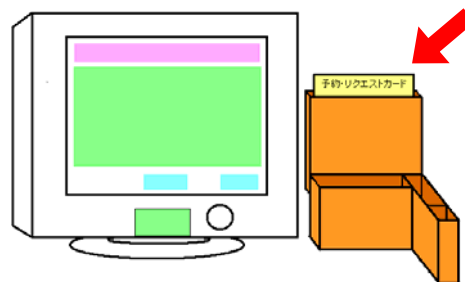
10～12月・・・『二宮ゆかりの人物 市川三升(10代目團十郎)』

利用者の声 Q&A

Q: 予約カードが検索端末のところにあると便利だと思うのですが。

A: ご要望にお応えし、予約・リクエストカードを検索端末のところにも置くことにしました。ご利用ください。なお予約・リクエストカードは、2階カウンターでも受け付けています。

また、検索して読みたい本が出てこない場合もリクエストとして受け付けていますので、同カードにご記入の上、カウンターへお出しください。



映画会

「皇帝ペンギン」

南極の大自然で生きる皇帝ペンギンの奇跡のドラマです。

日時: 9月18日(月・敬老の日)

場所: ラディアンホール

開場: 午後1時30分

開演: 午後2時(3時45分終了予定)

入場無料、申込み不要です。直接会場にお越しください。

ひとつだけ ~ 編集後記にかえて

萩の花 尾花 葛花 瞿麦の花
女 郎 花 又 藤 袴 朝 貌 の 花

現在一般的にはキキョウのこと

山上憶良の歌で有名な秋の七種(七草)はふう～んコーナーで紹介しましたが、その他にもさまざまな花が咲きそろう季節です。コスモス、リンドウ、ヒガンバナ、キンモクセイにワレモコウ。想いを馳せてしまうような印象的な花が多い気がするのは、秋という物思いがちな季節のせいでしょうか。折々に咲く花々の色や形や香りを、古代の人々のように研ぎ澄まされた感覚でとらえて、心も豊かな実りの秋にしたいものです。